

令和2年度実施教育課程一覧

(普通科)		選は枠内の1科目を選択																	※は特定の期間で実施																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1 学 年 75 回 生	科目	国語総合				現代社会		数 学 Ⅰ	数 学 Ⅱ	数 学 A	物理基礎		化学基礎		生物基礎		体 育			保 健		選 選														

備考 自由選択科目として、「グローバルリサーチ(グローバルⅠ、グローバルⅡ)」を設置します

「グローバルリサーチ」非選択者の単位数合計は表の合計よりも1少なくなります

始業時刻は8:30 6限の日は14:55終了 7限の日は15:55終了

(創造科学科)		選は枠内の1科目を選択																	※は特定の期間で実施															*については下述						
1 学 年 75 回 生	科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
		国語総合					理数数学Ⅰ					理数化学		理数物理		理数生物		体 育		保 健	書 道Ⅰ	美 術Ⅰ	音 楽Ⅰ	英語Ⅰ コミュニケーション	英語表現Ⅰ	情報の科学	創造基礎	R R E	課題研究	L H R	総合的な探究	※								
		単位	5					5					2		2		2		3		1	2	3			2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	※				
2 学 年 74 回 生	文系	科目	現代文B		古 典B		地 理A			理数数学Ⅱ			理数数学特論		理数化学		理数物理		理数生物		体 育		保 健	英語Ⅱ コミュニケーション			英語表現Ⅱ		家庭基礎		創造応用Ⅰ 英語Ⅰ			L H R		※				
		単位	2		3		3			3			2		1		1		1		1		4			2		2		5			1		1		※			
	理系	科目	現代文B		古 典B		世界史A			地 理B			理数数学Ⅱ			理数数学特論		理数化学		理数物理		理数生物		理数物理	体 育		保 健	シ コ ロ ン 英語Ⅱ			英語表現Ⅱ		家庭基礎 <td colspan="3">創造応用Ⅰ 英語Ⅰ</td> <td colspan="2">L H R</td> <th>※</th>		創造応用Ⅰ 英語Ⅰ			L H R		※
		単位	2		2		2			2			4			2		2		2		2		1	2	1	3			2		2		3			1		1	
3 学 年 73 回 生	文系	科目	現代文B		古 典B		選 地 理 日本史B 世界史B			上級か下級を選 倫理 政治 経済			理数数学Ⅱ			理数数学特論		理科探究		体 育		シ コ ロ ン 英語Ⅲ			英語表現Ⅱ		創造応用Ⅱ 英語Ⅰ <td colspan="3">L H R</td> <th>※</th>		L H R			※								
		単位	2		3		4			2			3			2		3		2		3			2		2			2		1			1		※			
	理系	科目	現代文B		古 典B		地 理B			理数数学Ⅱ			理数特論		理数化学		理数物理		理数生物		体 育		英語Ⅲ コミュニケーション			英語表現Ⅱ		創造応用Ⅱ 英語Ⅰ <td colspan="2">L H R</td> <th>※</th>			L H R		※							
		単位	2		2		3			4			3			4		5		2		3			3		2		2			1			1		※			

備考 *については:前期(9月まで)創造基礎(B)1時間+※1時間 後期(10月から)課題研究1時間+※1時間で実施します

始業時刻は8:30 6限の日は14:55終了 7限の日は15:55終了

② 第1回運営指導委員会 議事録

I 開会挨拶【 校長 】

II 運営指導委員長 ご挨拶

III 運営指導委員のご紹介

委員長に蜂谷氏、副委員長に水山氏 全会一致で承認。

IV 本校出席者自己紹介

V 報告事項

1 3年間の事業計画について【窪田教諭】

- (1) 研究開発名
- (2) 研究開発の概要
- (3) 研究開発の目的
- (4) 3年間の事業計画について
- (5) カリキュラム・マネジメントの推進体制

※ 質疑応答・意見交換

【廣岡委員】感想になりますが、スタートは独自性があるもので、苦勞されることになると思うが、モデルになると思う。この独自性を大切にしてほしい。質問は浮かんでこない、という点で難しさがある。兵庫サロンを画面上で色んな先生が参加できるようにや、生徒も参加できるようにしたらよいのでは。

【水山委員】希望なのですが、取り組みで ZOOM をつかっていただけると、我々も会議だけでなくいろんなことに参加できるのではないか。そのような配慮があるとよい。

【窪田教諭】オンラインでしている授業があるので、そこに参加していただけたらと思う。

【松岡委員】評価について、具体的にどういう指標でされているか。

【窪田教諭】アンケートをオンラインでとった。STEAM で細かく分けているので、それを生徒に聞いたものがある。記述の部分もある。

2 令和2年度の事業計画等について【窪田教諭】

- (1) カリキュラムの実施計画と実施状況
- (2) 普通科での取り組みについて(ブログ抜粋)
- (3) 創造科学科の取り組みについて(ブログ抜粋)
- (4) 校外研修の取り組みについて
 - ア KOBE 研修(新規)
 - イ 東京研修(海外研修の代替)

※ 質疑応答・意見交換

【蜂谷委員】感想になるが、神戸自体をよく知っていただく、神戸研修に力をいれていってもらい、東京や海外との比較をする。まずは神戸を知ってもらうということを評価したい。神戸・兵庫を知ってもらい、外に行ってもらいたい。

【小室委員】印象としては非常たくさんのことをやっというとしている、やっている、少しやりすぎなぐらいの印象。やはり神戸をどこの生徒よりも大好きになってもらい、その中で神戸をもっとよく知ってもらう、初めにインプットするきっかけをつくるカリキュラムをつくってほしい。関心をもつインパクトをもつようなきっかけをカリキュラム中に取

り入れたらいいのではと思った。

【水山委員】色んな先生が取り組まれるようになった、というのは良いと思うが、新しい先生はこの活動の全容を知っているのか。新しい先生の岩見先生の印象を聞きたい。また、生徒はどのように感じているのか、去年と比べて探究のレベルはどうなったか印象でいいので教えて欲しい。

【岩見教諭】SGH に関しては理解している。グローカル型ということで、地域に密着しているという印象があり、それが普通科の生徒にひろがっている。しかし、普通科の生徒は探究活動をしたくて入学したわけではないという意識がある。すぐに成果はでないと思っている、少しずつ進めていきたい。ZOOM などで交流をしていきたい。

【窪田教諭】生徒の探究のレベルは、コロナだからという影響はあまりない。テーマ設定などの内容はできることが限られているが、取り組みは問題ない。しかし、コロナでメンタル面の影響はあったと感じている。

【水山委員】なぜ聞いたかという、8p9p11pにテーマが乗っているが、GR のテーマがまじめだなという印象。前からこんなに真面目だったかな、と。

【窪田教諭】テーマ設定は昨年していたのだが、コロナ後に考え直させたので。

【廣岡委員】1年生がデータサイエンスの基礎講座をはじめスタートが遅れてしまった。1年生がどういう状況なのか、また先生方の様子を教えて欲しい。

【窪田教諭】1年生自体は、こういうものだと思っている。先生が丸抱えしないように業者に頼んでいる。

【蜂谷委員】東京研修が苦戦されているということだが、問題意識をもっている生徒からしたら参議院会館は求めている。ニーズとのずれなのでは。ニーズを聞く。私の方でも紹介の取次ができると思うので、コンソーシアムという組織を活用いただけたらと思う。

【岡田委員】イギリスなどは小さいころから美術館に行ったりしている。素養として絵を見せなければいけないと思う。情操といった部分を。神戸で起こった歴史を踏まえて、どういったものが見せられるか。

VI 協議事項

1 協働機関(コンソーシアム)との今後の連携強化について

【武藤委員】コンソーシアムの強化ということだが、今のコンソーシアムはどういったつながりで決まっていたのか。

【窪田教諭】基本は SGH の 5 年間でお付き合いがあったところ。今年から情報分野や企業と連携した。商工会議所は前にも繋がりがあってお願いした。

【武藤委員】ボランティアなどで現場に出向くことを強化していければよいのでは。

2 令和3年度の海外研修のあり方について

【岡田委員】海外は無理。神戸の街で色んなことが起こっている、そういうものを見せていければ。そこには必ず専門家がいたので、話がきけるのでは。

【蜂谷委員】海外は難しいかな。東京には各国の大使館があるので、大使館訪問を入れても生徒の興味を引けるのでは。国内で海外に近い経験を受けていただくことを検討してほしい。

【窪田教諭】大使館も考えたが、東京武陽会から基本オンラインだと言われた。

【廣岡委員】政策の検討過程だったり業績評価の過程などの委員会に在籍させていただく、中に立ち入るようなテーマの設定も考えたかどうか。委員会の参加は難しいかもしれないが、資料をもらって対応できるのでは。

【武藤委員】コロナ禍ではあるが、2025 年までの 5 年間の計画を考えていると思うので、計画過程を聞きたいのであれば、担当から聞くのもいいのかなと思う。オンラインの価値であれば、

海外文化にふれることができるのではないかなと思う。

【水山委員】オンラインでしないで、シンポジウムなどは考えていないのか。

【窪田教諭】オンラインで参加するというのが応募者がゼロだった。オンラインで出会って楽しめるのはコミュニケーション能力が高い生徒でないといけないという認識。ハードルが高い生徒がいる。

【水山委員】無理に英語で発信しようとしなくて、半分英語、半分日本語での交流ができないのかなと思う。

【窪田教諭】難しい。

【校長】英語の教師でもハードルが高いと感じている人もいる印象。

【水山委員】シンポジウムの印象しかないが、お互いに課題を持ってさえいればできるのではないかな。

NPO、NGO など、もう少し砕けた施設に持ちかけたらよいのでは。

【大澤教諭】何かテーマを設定して、それについて話していくという感じなのか。

【水山委員】そうです。企画も含めて生徒にさせてみたら、企画力などもつくのでは。

VII 指導助言 【松岡主任指導主事】

- ・3年間の指定事業で、その初年度でコロナ禍になってしまったのは残念だが、いろいろ取り組んでいる方々に感謝している。
- ・SDGs とからめて取り組むことは評価されている。これからの教育と切り離せないテーマになる。
- ・田舎には田舎の、神戸には神戸の課題があって、課題という面と、神戸でしかない良さに注目して、そういうことを課題研究のテーマにして進めていってもらいたい。
- ・研究成果を外部、公的機関に提言するなどの発信することをしていかなければいけない。
- ・カリキュラム開発、他の一般の教科のなかでも探究をどういうふうに組み込んでいくのか。
- ・課題探究のスキルは評価されるスキルである。
- ・コロナで計画を変更せざるをえないなかで、同等の成果を求められるのでオンラインなどを使って進めていってもらいたい。

【廣岡委員】3年間レベルでしないといけないのか。

【松岡委員】通常どおり3年間でしないといけない。担当者間レベルでの問い合わせもあったが、申し訳ない。

VIII 閉会挨拶 【校長】

③ 第2回運営指導委員会 議事録

I 開会挨拶【 校長 】

II 運営指導委員のご紹介

III 本校出席者自己紹介

IV 報告事項【窪田教諭】

1 令和2年度の活動について

- (1) 推進体制
- (2) コンソーシアム構成団体との連携
- (3) 目標の進捗状況、成果、評価
- (4) 目標設定の変更とその理由

※ 質疑応答・意見交換

【廣岡委員】コンソーシアムの関係について。かなりいびつな計画になるのではないかと。調整は必要なのか、ある程度こちらの要望をきいてもらえるのか。

【窪田教諭】だいたい、こちらの要望を聞いてもらっている。

【武藤委員】2点ある。総合的な探究の時間について。1つ目は全生徒に拡大するとなると、教員側がどういう体制でみているのか。2つ目はこれを行っている所管に課題を聞いている。先生方のアドバイスが必要になってくるのではないかと。

【佐井教諭】指導に関しては計14名であたっている。生徒たちが自分たちで課題を発見して生徒達が主体となって動いていく。教員は相談や必要に応じてサポートをしている。外部のアンケート調査や問い合わせなどは、まずは教員が初めに問い合わせし、その次に生徒にかかわって生徒が質問していく。企画書を担当教員や探究委員がチェックしている。そこで行き違いはなかった。

【武藤委員】ブラッシュアップ体制が必要だと思っている。

【廣岡委員】研究テーマによっては取り組みやすさの格差があると思うが、そこはどのように調整しているのか。

【佐井教諭】各担当の教師によっては差がある。今後は、もう少し課題の絞り込みなども丁寧に行っていけたら。

【水山委員】2つあります。探究的なことをやっていくと、アカデミックスキルが必要。先にやれば自信をもってできると思うが、アカデミックスキルの授業があるのか。なければ、おやりになったほうが良い。せっかくの機会なのでコロナみたいなのをきちんと対象と扱った探究も今だからできるものができるのではないかと。SDGsの目標が17個あって、日本は格差がある。いろいろな観点から探究する授業がつくられてもいいのではと思う。2つ目は単なる意見です。

【佐井教諭】普通科探究でのアカデミックスキルですが、必要に応じて提示はしている。課題設定やアンケート調査の講座を必要に応じて受講した。

【水山委員】アカデミックスキルの単元を設けることを考えた方が良いと思う。

V 協議事項

1 次年度以降の課題及び改善点 【窪田教諭】

- (1) SGHの研究成果をふまえたコンソーシアム活用によるグローバル型探究

・DX研修を3月下旬に行う。仮想オフィスを開発した企業と連携し、そのオフィスに入って

見学する。

- ・R3年度は学習の体制が探究に合うようにやっていきたい。
- ・パフォーマンス評価のブラッシュアップ。分析に至るまでの流れを確立していきたい。
- ・ベトナムから遠隔で何かできないか。進めていきたい。
- ・今年度はコンソーシアムにお世話なってきたが、ローカル色が強いものになった。今後はグローバルな視点を持ったものにしていきたい。

(2) カリキュラム・マネジメント体制の構築

- ・兵庫サロンをたちあげたが、参加者・教科の隔たりがある。
- ・全体の理解をしていくのが主なものになった。来年度はカリキュラムまでしていきたい。
- ・兵庫サロンは勤務時間外に行っていたので、広がりの方では課題である。

(3) STEAM 教育に沿ったカリキュラム開発と環境の整備の充実、及び機器の活用

- ・機器は揃ったが、それを活用するまでは至っていない。
- ・操作方法なども拡充しながら、学びの在り方を模索していきたい。

※ 質疑応答・意見交換

【蜂谷委員】1点目についてご質問・ご意見を頂戴したい。

【蜂谷委員】コンソーシアム活用ということだが、各機関どうしが横の連携を取り合い、コンソーシアムに課題をなげて、答えていく。それがコンソーシアムなのではないか。

【窪田教諭】ポンチ絵にもあるように、兵庫高校を取り囲むようにコンソーシアムがある。理想では横の連携を取りながらしていきたいと思っていた。しかし、コンソーシアム自体が大きな組織であるので一堂に会す機会はなかった。

【蜂谷委員】確かに大規模な機関ばかりなので一堂に会することは難しい。しかし認識を共有していきたい。

【水山委員】一番いい方法はカリキュラムを共有することだが難しい。そうすると人が重要で、外部機関の担当者との理解がないと、関係が密になればなるほどストレスになってくる。カリキュラムそのものをがっちと作って外に出していく。

【校長】コンソーシアムがどこに関わっていくのかの見せ方。キーパーソンとのやりとり、コンソーシアム側のメリットを考える。単位互換ができればいいけれども。行政ともやり取りがあり感謝している。

実際にどの程度学校がやっているか提示していく、逆に行政のほうからも教えて欲しい。

【廣岡委員】コンソーシアムどうして情報交換し共有していけたらと思う。

【松岡委員】グローバルな視点を持ちにくかった。地域魅力型の取り組みになっているので、来年度はグローバルをおしだしていかなければならない。現段階での生徒がグローバルに目を向けさせる取り組みを教えて欲しい。

【窪田教諭】ベトナムでのバーチャル研修を考えている。海外の生徒との交流なども。また神戸に住む外国人との交流を増やすことで、視点をグローバルに向けさせたい。

【松岡委員】オンラインが基本になっていくとは思う。オンラインを基本として海外と交流していくことをお願いします。先ほどの動画にもあった発表会の質疑応答で、兵庫高校の生徒がよかった。生徒にそういう機会を作っていくのも大事だと思う。

【蜂谷委員】2点目についてご質問・ご意見はありませんか。

【蜂谷委員】特にございませんか。

では次に3点目はどうですか。

【松岡委員】兵庫サロンの実施形態を現時点でどのように考えているか。

【 教頭 】 視点を変えて、一般の授業であってもオンラインを利用し、臨時休校の際などに活用できるように研究していくプロジェクトチームを結成している。2月になってから結成したので、来年度はメンバーがかわるかもしれないが、続けていくつもり。また R4 年度からパソコンを一人1台持つ。学科では来年度先行導入をしていくことにしている。

【 校長 】 教科の代表をもってカリキュラムマネジメントを考える組織を立ち上げる予定。

【 蜂谷委員 】 多くの意見を頂戴し、ありがとうございました。

VI 指導助言 【松岡主任指導主事】

コロナ禍で事業を運営していくのは大変だったと思う。オンライン意見交換でも上がっていたが、兵庫では多岐にわたって色々を行っている。パンクしないか心配している。グローバルの視点をどうやって入れていくか、カリキュラムマネジメントに関わっていくところ等、課題はたくさんある。2年目は大事な年なので、STEAM とグローバルのすみ分けをしないといけない部分があるのではないか、今一度校内で整理していただきたい。推進体制を再構築していくことも大切だと思う。他校、他県に取り組みを広げつつもってもらえるようにサポートしていきたい。

VII 閉会挨拶 【 校長 】